

令和 7 年度 上 半期 指定管理者管理運営状況シート

1. 施設の概要

施設名	柳津高齢者福祉センター	所管課	高齢福祉課
所在地	岐阜市柳津町丸野1丁目34番地		
指定管理者名	社会福祉法人 岐阜市社会福祉事業団		
指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日		
選定方法	公募		
料金制	料金徴収なし		
指定管理委託料(年額)	22,063,000円／年		
施設の設置目的	高齢者に対して各種の相談に応ずるとともに、健康の増進、教養の向上及びレクリエーションのための便宜の供与を目的とする。		
施設概要	◇構造:鉄筋コンクリート造2階建て(うち1階部分) ◇敷地面積:2,698.00m ² ◇延べ床面積:816.83m ² ◇開館:昭和62年4月 ◇施設内容:教養娯楽室、機能回復訓練室、相談室、集会室、浴室、図書室、湯沸室、事務室 ※「柳津児童館」との複合施設		

2. 利用状況

	R7 上半期	R6 下半期	R6 上半期	R5 下半期	R5 上半期
利用者数(単位:人)	11,652	9,222	8,999	8,428	8,009

3. 業務の履行確認

区分	確認事項	履行状況
利用者サービス	①開館日・開館時間の遵守 ②適切な人員配置 ③広報の方策 ④苦情への対応	①岐阜市老人福祉センター条例施行規則第2条のとおり履行 ②所長・常勤2人・看護師(3日/週)を配置 ③広報誌、事業団HP、施設内掲示板を活用 ④ご意見箱の設置。苦情については、「岐阜市社会福祉事業団苦情解決に関する事業実施要綱」により、施設長を苦情解決責任者として第三者委員と協力して解決にあたる仕組みをとっている。
自主事業・提案事業	一	
施設管理	①夜間警備業務 ②清掃業務 ③防災機器保守点検 ④非常通報装置保守点検 ⑤貯水槽清掃業務 ⑥ポンプ保守点検 ⑦冷暖房保守点検 ⑧電気保安管理業務 ⑨自動扉保守点検 ⑩ボイラー保守点検 ⑪ろ過器保守点検 ⑫ろ過配管洗浄業務 ⑬浴槽清掃 ⑭スカイウェル保守点検	①夜間警備業務(警備機器による警備) ②清掃業務(年3回: 5/10, 9/13) ③防災機器保守点検(年2回: 8/12) ④非常通報装置保守点検(年2回: 8/1) ⑤貯水槽清掃業務(年1回: 8/21) ⑥ポンプ保守点検(年1回: 8/21) ⑦冷暖房保守(年2回: 4/28) ⑧電気保安業務(隔月: 4/16, 6/18, 8/7) ⑨自動扉保守点検(年2回: 5/1) ⑩ボイラー保守点検(年1回: 下半期実施予定) ⑪ろ過器保守点検(年4回: 6/16, 9/11) ⑫ろ過配管洗浄業務(年1回: 9/11) ⑬浴槽清掃(火・木(入浴翌日)・ 金曜日入浴後に実施) ⑭スカイウェル保守点検(年1回: 8/14)
施設修繕	下記の観点からの修繕実施状況 ・迅速な修繕の実施 ・指定管理者のノウハウを生かした修繕・整備	・1回/月 安全点検日を設けて、担当箇所を点検 ・庭園内樹木の剪定・草花植栽等整備(随時) ふれあい花壇の活用 ・衛生設備関連については、保守業者と不具合状況を共有し、優先度の高い箇所から市に依頼し修繕した。(上半期は膨張タンク給水ボールタップの取替修繕を実施)
危機管理・法令遵守	①個人情報の保護 ②非常時の対応策 ③関係法令の遵守	①岐阜市社会福祉事業団個人情報保護規程の遵守 ②災害対策マニュアル・危機管理マニュアル、地震防災マニュアル、不審者対応マニュアル、感染症対策マニュアル等の遵守 ・児童館、放課後児童クラブと合同で消防訓練の実施(7/10) ③条例・規則等の遵守

4. 利用者評価

利用者アンケートの実施状況	○令和7年6月24日から7月17日まで、講座、サークル、入浴利用者を対象にアンケートを実施した。 ○アンケートの質問項目:性別、年齢、交通手段、職員の対応、施設の管理、講座満足度
利用者アンケートの実施結果	<p>回収総数184枚</p> <ul style="list-style-type: none"> 性別 男性: 51人、女性: 132人、回答しない: 0人、無回答: 1人 年齢 60歳~64歳: 11人、65歳~69歳: 20人、70歳~74歳: 42人、75歳~79歳: 62人 80歳~84歳: 33人、85歳~89歳: 10人、90歳以上: 2人、無回答: 4人 交通手段 自動車: 147人、自転車: 25人、公共交通機関: 3人、その他: 5人、無回答: 4人 職員の対応 満足: 88.5%、やや満足: 9.9%、やや不満: 1.6%、不満: 0%、無回答: 2人 施設の管理 満足: 71.3%、やや満足: 27.1%、やや不満: 1.1%、不満: 0.5%、無回答: 3人 講座満足度 満足: 75.2%、やや満足: 23.7%、やや不満: 1.1%、不満: 0%、無回答: 7人
利用者からの要望・苦情と対処・改善	<ul style="list-style-type: none"> 男性浴場の鏡が少ない 【回答】浴場東側一面が窓ガラスのため、鏡を設置することができません。交代でご利用いただきますようお願いします。 自販機を置いてほしい 【回答】飲料水は、各自で持参いただくようお願いしています。 風呂の扇風機を、床ではなく壁に取り付けてほしい 【回答】脱衣場が狭く申し訳ありませんでした。壁掛け用扇風機を新たに購入し取り付けました。 毎日新聞は読まないので、中日新聞に替えてほしい 【回答】現在、マッサージ室には岐阜新聞と毎日新聞を置いていますが、当センターで定期購読しているのは岐阜新聞のみです。毎日新聞は販売店のご厚意で頂いているものですので、ご理解いただきますようお願いします。

5. 指定管理者の選定基準に基づく評価

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定管理者	所管課	評価委員会
公平性 透明性	住民の平等利用が確保されること	平等利用を確保するための体制、モニタリングなど	<ul style="list-style-type: none"> 「広報ぎふ」の他、ホームページ、施設内の掲示板を活用。 講座受講生は定員を超えた場合、第三者立会いのもとで抽選し、抽選にもれた方にはサークルを紹介する。 「御意見箱」を設置し、利用者の声を把握。 	A	A	A
		情報公開、広報の方策	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理者が定めた「情報公開規程」に基づき対応。 「広報ぎふ」、ホームページ等多様な手段で情報提供。 	A	A	A
			区分評価			A
効果性	事業計画書の内容が、対象施設の効用(設置目的)を最大限発揮すること	利用者ニーズ、苦情などの把握方法及び対応方策など	<ul style="list-style-type: none"> 「御意見箱」を常設するとともに、日々の業務を通じたニーズ把握。 指定管理者が定めた「苦情解決に関する事業実施要綱」に基づき対応。 	A	A	A
		利用者に対するサービス向上の方策(窓口対応、プロモーション、設備の整備など)	<ul style="list-style-type: none"> 研修会等により、接遇技術の向上を図る。 施設の点検など、快適な環境に努める。 	A	A	A
		利用促進、利用者増の方策	<ul style="list-style-type: none"> 「広報ぎふ」、ホームページ、施設内の掲示板等、多様な手段で広報。 講座・サークル活動の充実を図る。 	A	S	S
		サービスの質を確保するための体制、モニタリングなど	<ul style="list-style-type: none"> 定期的に利用者アンケート調査を実施。 	A	A	A
		施設の効用(設置目的)を最大限発揮できるスタッフの配置	<ul style="list-style-type: none"> 経験のある職員を配置し、スタッフの機動的な対応を図る。 	A	A	A
			区分評価			A

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定管理者	所管課	評価委員会
効率性	事業計画書の内容が、管理経費の縮減が図られるものであること	収支計画の妥当性	・収支計画に沿った運営。	A	A	A
		管理経費縮減の具体的方策	・運営管理している他施設との一括発注及び指定管理期間を超えない複数年契約による経費削減。 ・利用者サービスを低下させない範囲内での節水・節電等による光熱水費等の縮減。	A	A	A
		スタッフ配置の妥当性(無理はないか)	・サービスを低下させないように、効率的に職員を配置。	A	A	A
		区分評価				A
安定性 安全性	事業計画書に沿った管理を安定して行う物的 能力、人的能力 を有していること	経営基盤の安定性	・民事再生法や破産法に基づく再生／破産手続き開始の申立てをしていない。 ・市税等の滞納がない。	A	A	A
		組織及びスタッフ(採用予定者も含む)の経歴、保有する資格、ノウハウ、専門知識等	・過去に高齢者福祉等の仕事に携わった経験のある人材を配置。	A	A	A
		スタッフ(採用予定者も含む)の人材育成の方策	・研修等により人材の育成を図る。	A	A	A
		リスクへの対応方策(防止策、非常時の対応マニュアルなど)	・指定管理者が作成した「危機管理マニュアル」、「地震防災マニュアル」等に基づき対応。	A	A	A
		区分評価				A
貢献性	事業計画書の内容が、岐阜市あるいは施設がある特定の地域(以下「地元」という。)の振興、活性化などに貢献できるものであること	地元の法人その他の団体の育成(一部業務の再委託先)	・地元の法人その他の団体に業務の一部を委託。	A	A	A
		地元での社会活動等への参加	・施設周辺の日常清掃の実施など地域環境美化に取り組む。(老人会・自治連合会等共同参加)	A	A	A
		地元団体との連携、地元住民等との交流(世代間交流など)	・地元自治会、地域包括支援センター、保健センター・ふれあい保健センター等との連携を図る。また幼稚園、小学校等と高齢者との交流を促進する。 ・地元住民との交流を図り、地域福祉の向上に努める。	A	A	A
		区分評価				A

6. 指定管理者の取組みに対する自己評価(良否、課題と解決策など)

今期の取組みに対する評価	<p>【努力した点】</p> <ul style="list-style-type: none">・高齢者と児童との「フラダンス合同発表会」は、例年2階で開催していたが、今年度は人目につきやすい1階のロビーに場所を変更して開催した。そのため、入館と同時に目に触れることとなり、多くの来館者が足を止めて見学し大盛況であった。また、昨年は児童館のフラダンス教室の生徒の参加者が少なく寂しかったが、今年は多くの参加者があり、発表会後、一緒に記念撮影する等交流を深めることができた。・囲碁のメンバーに依頼をして「囲碁教室」を開催し、小学生との交流を図るとともに、伝統遊びを次世代に継承することができた。募集にあたっては、児童館と連携して、興味がありそうな外国人の小学生にも声掛けし参加にこぎつけた。・1日講座「スマホ」の募集では、男性利用者増に繋げるため、風呂利用者に積極的に声掛けをした結果、4人の男性に参加してもらうことができた。・駐車場内花壇の草取りや樹木剪定、館内入口までの動線付近の清掃等を徹底し、来館者が気持ちよく入館してもらえるよう努めた。 <p>【反省点】</p> <p>特になし。</p> <p>【自己評価】</p> <ul style="list-style-type: none">・風呂関連設備については、水回りに加えて経年劣化もあり様々な不具合が発生している。そのため、保守業者から設備整備提案書を提出してもらい状況を情報共有した。その上で優先順位を決め、緊急性の高い案件について市に依頼し修繕することで、風呂の安全利用に繋げた。。・「フラダンス合同発表会」や「囲碁教室」は、日頃、あまり接することができない児童との交流ができたという点で効果があった。今後も、高齢者と児童の複合施設という利点を生かし、様々な行事を企画していきたい。・コロナ禍からの正常化を目指したマッサージチェアの再開や、要望の多かった新規講座の開講等により、利用者の大幅な増に繋がった。 <p>* 上半期総利用者数 11,652人、対前年度 2,653人増 " 1日平均 77.7人、対前年度 17.7人増</p>
前回までの意見を踏まえた取組み状況	<ul style="list-style-type: none">・要望が多かったマッサージチェアの利用を4月から再開し、センターの利用者増に繋げた。・昨年に引き続き1日講座として、人気の「スマホ教室」を実施。次回の開催を望む声が多かったため、下半期はセキュリティ・防災対策を内容として実施予定。・かねてより実施を希望する声が多かったヨガ講座を今年度より開講。定員を上回る応募があり、抽選で受講者を決定する人気ぶりだった。
今後の取組み	<ul style="list-style-type: none">・下半期の1日講座として、人気の「スマホ」に加え、高齢者の関心度が高い「フレイル予防」について、地域包括支援センターと連携して実施する予定。・マッサージチェアを利用する人のほとんどが風呂利用者のため、講座・サークル利用者にも積極的に案内をし、更なる利用者増に繋げていく。

7. 所管課の意見

昨年度下期に実施した麻雀の人数制限撤廃、入浴の予約制撤廃に加え、4月からのマッサージ室の再開など、コロナ禍からの正常化を進めたことが寄与し、利用者は大きく増加した。

参加者数が低迷していた講座をサークルに移行させ、要望の高いヨガ講座を開始し好評を得たほか、上半期に1日講座として開講し好評を得たスマホ講座について、下半期も開催すべく準備を進めるなど、利用者ニーズに応える講座運営に努めている。

今後も利用者の増加に努められたい。

8. 指定管理者評価委員会の意見

所管課の意見のとおり適切に管理運営されている。
